

「広島県民への貢献」誓い新たに

一般社団法人 広島県配置医薬品連合会40周年祝賀会

「広島に根ざした強力な配置業界組織」



小島理事長

一般社団法人広島県配置医薬品連合会(小島恒治理事長)の設立四十周年記念祝賀会は十一月十四日午後五時から広島市の広島市文化交流会館三階「十字星」で開かれた。

来賓として広島県議会から同連合会顧問の松山俊宏、緒方直之の両県議、広島県健康福祉局業務課から海嶋

照美課長、岡田史恵薬事グループ主査、社団法人広島県薬剤師会から前田泰則会長、配置業界団体の一般社団法人日本配置販売業協会(日配協)から石近保会長、前田泰一副会長、一般社団法人全配協医薬品配置団体連合会(全配連)から満原元善理事、一般社団法人熊本県医薬品配置協会から同会長、中村孝博副会長、中川悦夫監事らが出席した。祝賀会直前の第四十一回定期総会で五代目理事長(会長)への就任が決まった門那良三副理事長が実行委員長となって開催された。広島で名が知られたパー

ソナリティー・玉田陽子さん(フリーアナウンサー、オフィスタマランズ代表)の軽妙な司会進行で始められ、冒頭、小島理事長が出席の来賓や会員らに謝意を表しあいさつした(要旨後記)。

スクリーンに映し出して、小島理事長らが写真の一枚一枚を解説した。厚生労働大臣表彰披露では、こし受賞した中田勝之氏(福山市)が紹介された。同氏は昭和二十七年から六十年以上にわたって現役配置販売業者として従事しているかたわら、現在も同連合会監事などを務める長老。

引き続き理事長表彰の贈呈を行い、小島理事長から受賞した平野克重(尾道市)、小野周二(広島市)の両氏に連合会理事長表彰の賞状と記念品が手渡された。このあと出席した来賓を代表して四氏から祝辞が述べられ、同連合会の顧問で広島県議会の松山俊宏、緒方直之の両県議、広島県健康福祉局業務課の海嶋照美課長、社団法人広島県薬剤師会の前田泰則会長がそれぞれ、同連合会のこれまでの活動などを称えて賛辞を贈ったほか、その他の出席来賓

祝賀会席上で門那良三氏(向)へのパトントンタッチを披露する小島理事長(左)

振り返り、創立四十周年を祝った。同四十周年祝賀会実行委員会の門那良三委員長が「当連合会には改正薬事法への対応や会員世代交代など多くの課題があるが、会員一丸となって乗り切り、当会の最も大きな目的である会員の配置業発展を後押しするための、力強い業界組織ナンバーワン「広島配置連合会」としての機能を存分に発揮し、この四十周年を節目に、いっそう切磋琢磨し、今後益々成長・繁栄し続けていくことを共に誓いたい」とあいさつ。来賓の一般社団法人日配協の前田副会長の本締めで盛会のうちに祝賀会を閉じた。

「小島理事長あいさつ要旨」

四十周年記念祝賀会を開催したところ来賓の諸先生はじめたくさんの方々にご多忙のところご出席を賜り厚くお礼申し上げます。当会は昭和四十八年にそれまで広島県内各地にあった配置販売業者の組織だった最寄会をひとつに統合したことに始まる。当時の広島県下の配置販売業者の実態は富山・奈良などの配置

生産県から出張しての個人配置販売業者がほとんどだったが、広島在住配置販売業者で販社等を設立して従事する配置業者も徐々に増加している時期でもあった。そこで広島県業務行政当局からの要望もあって当連合会が設立された。

昭和五十八年には広島県薬事衛生会館設立にも参加し、県下の他業団体とも連携して以後、広島県民の保健衛生に貢献してきた。平成十八年に薬事法改正で配置業業界は大きな曲がり角に立たされたが当会はその後、「広島方式」と称される独自の道を歩み、平成二十一年には一般社団法人化により組織強化を図った。当会には現在、設立時委員の三代目が多く在席している。広島県在住のほとんどの配置販売業者が加盟しておかげさまで広島県下の他の業団体や広島県業務当局から厚い信頼をいただいていると自負している。



祝賀会会場と来賓・受賞者との記念写真



緒方広島県議



松山広島県議



前田薬剤師会長



海嶋業務課長



右近日配協会長

地域の医薬品供給の一端を担う義務と責任を十分に認識すると同時に、広島県民の健康保持増進への貢献を自らの役割とし、その使命を誇りとし、この連合会設立四十周年をひとつの区切りとして、広島県民への貢献と会員のために研鑽をいっそう続けてまいります。